

## 生活支援技術VI

担当教員 馬場 敏彰

配当年次 3年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 4

## 【授業のねらい】

利用者にとっての睡眠の確保と安眠への支援が、快適な生活の基本であることを学ぶ。  
「生」「死」とは何かを考え、人間の尊厳にかかわる「終末期」における医療と地域福祉との連携の必要性を理解し、介護福祉士としての役割を身につける。

## 【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

馬場：介護福祉士として病院勤務経験・在宅支援勤務経験、介護福祉士養成校教員 他

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	心臓・呼吸機能低下傾向の人の生活理解	16	終末期の介護（尊厳の保持）
2	心臓・呼吸機能低下傾向の人への介護方法	17	終末期におけるアセスメントの視点
3	腎臓機能、膀胱直腸低下傾向の人の生活理解	18	ICfの視点にもとづく終末期のアセスメント
4	腎臓機能、膀胱・直腸低下傾向の人への介護	19	終末期における医療との連携の意義と実際
5	認知・知覚機能低下傾向の人への介護留意点	20	終末期における介護（援助の基本姿勢）
6	認知・知覚機能低下傾向の人への介護方法	21	終末期における介護（他職種との連携等）
7	精神障害の人の生活理解と介護方法	22	終末期における介護（具体的援助）
8	精神障害の人への介護方法	23	臨終期の介護（症状の変化への援助）
9	発達障害者支援技法	24	死別期の介護の留意点と方法 死後のケア含
10	重複障害（重症心身障害）への介護方法	25	グリーフケア 意義・目的 援助者の役割等
11	自立に向けた睡眠の介護（意義・目的）	26	他の職種の役割と協働
12	睡眠に関するICFの視点によるアセスメント	27	多職種間の連携と介護福祉士の役割
13	安眠のための介護の留意点	28	一連の生活支援技術（施設生活）
14	安眠のための介護の方法と工夫	29	一連の生活支援技術（在宅生活）
15	終末期の介護（意義・目的）	30	尊厳ある支援を提供するための方法の理解

## 【履修上の注意事項】

事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。（30分）

事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。（30分）

## 【評価方法】

期末試験80％ 課題提出10％ 講義における積極性10％

## 【テキスト】

『生活支援技術Ⅱ』中央法規

## 【参考文献】

『生活支援技術Ⅲ』適宜提示する。